

1. 指定管理者名	社会福祉法人多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
3. 業務の範囲	①サンホーム滝呂の事業の実施に関する業務 ②目的外使用許可にかかる事務 ③サンホーム滝呂の使用許可業務 ④サンホーム滝呂の維持管理に関する業務 ⑤管理運営業務 ⑥サンホーム滝呂の管理運営に必要な業務

4. 採点表									
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況（40点）	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	-	平均値比(注) 105%以上: 5点、105%未満～95%: 4点、95%未満～85%: 3点、85%未満: 2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		【老人福祉センター】 開館時間中（9：00～17：00）は、自由来館 【児童センター】 開館時間中（10：00～18：00）は、自由来館		
		(1)利用状況(10点)			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		【平均利用人数】 老人福祉センター 25,894人(H25:24,090人、H26:26,339人、H27:27,253人) 児童センター 13,785人(H25:11,667人、H26:14,660人、H27:15,028人) その他 702人(H25:409人、H26:920人、H27:779人) ※25年度に利用人数のカウント方法を延べ人数から実数へと見直したため、25～27年度の利用人数で平均値を算出。 【施設管理】 全体における施設利用者は概ね前年と同数である。 【老人福祉センター】 利用者一人一人が老人福祉センターの利用について自覚をもって利用されるようになった。施設の利用(入浴、ヘルストロン等)だけでなく、教室参加(教養、生きがいづくり等)や合同交流事業への参加もPRに力を入れることで増加している。 【児童センター】 市内及び地域内の子どもの絶対数が減少している中、地域の集会所等で行う出張児童館事業及び児童厚生員の創意工夫をもって児童センターのPRを行い、来館人数の維持に努めている。		10点
		②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上: 5点、105%未満～95%: 4点、95%未満～85%: 3点、85%未満: 2～0点	(1)に該当 ①老人センター 27,604÷25,894≒107% ②児童センター 14,612÷13,785≒106% ③その他 1,023÷702≒146% 全体 43,239÷40,381≒107%		105%以上 5点		
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況（仕様書内）(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	【老人福祉センター】 別紙「事業評価表」のとおり。 13点 【児童センター】 別紙「事業評価表」別紙のとおり。 13点		仕様書以上 13点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	【老人福祉センター】 別紙「事業評価表」のとおり。 12点 【児童センター】 別紙「事業評価表」別紙のとおり。 12点		【老人福祉センター】 ・二次予防運動事業をはじめとし、仲間づくり事業を企画し、参加者からはいずれも高評価を得ている。複合館の長所を活かし、高齢者が児童と交流する場も定期的に設けながら実施し、高評価を得ている。 【児童センター】 ・複合館の長所を活かし、幼児から大人までが楽しめる交流事業等を実施。運動系の遊びから脳トレーニング等の頭を使う遊びを企画し展開した。参加者から高評価を得ている。自主事業に参加し、その後一般来館する来館者も若干ではあるが増えている。		12点

2	施設管理状況（25点）	(1)施設管理業務の実施状況（10点）	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する（適正（普通）：2点、一部不備あり：1点、不備あり：0点） ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上：8点、適正（普通）：6点、一部不備あり：4点、不備あり2点	通常清掃 毎日実施 定期清掃 床清掃を業務委託により年2回実施	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			定期点検を業務委託により以下のとおり実施 空調設備（年2回）、ボイラー（年2回）、消防用設備（年2回）、エレベーター（月1回）、トイレ警報（年2回）、地下重油タンク（年1回）、自動ドア（年2回）、遊具器具安全点検（年3回）	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			夜間機械警備（毎日）、電気保安（毎日）業務委託	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			【施設管理】 ①ボイラー関係（リレースイッチ、ポンプ、安全弁）修繕、②トイレ排水修繕 【老人福祉センター】 ①男子ろ過ポンプ修理、②男女更衣室コンセント修繕、③湯沸し器修繕 【児童センター】 ①2階遊戯室ガラス修繕、②2階遊戯室網戸修繕、③トランポリン修繕	適正（普通） 2点	修繕が発生した場合は速やかに対応した。	
			⑤危険箇所の把握（施設の瑕疵）			日常の業務の中で危険箇所を把握した場合は速やかに対応 職員による安全点検・業者による遊具の点検	適正（普通） 2点	日常の業務の中で危険箇所を把握し危険箇所があった場合は速やかに対応した。	
		(2)その他管理業務の実施状況（15点）	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する（期待以上：3点、適正（普通）：2点、一部不備あり：1点、不備あり：0点） ②5項目の合計点とする。	市の文書管理方法（ファイリングシステム）に準じ適正に管理	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	11点
			②環境への配慮			・市の環境方針に準じて対応。省エネを念頭に市のエネルギー使用量調査に対応 ・毎月1回、施設周辺の清掃を全職員の輪番により始業時間前に実施 ・業務時間内でも節電の徹底 ・メール利用により紙の使用量を削減 ・資源ごみリサイクルの実施 ・裏紙使用の徹底 ・使用済み封筒等の再利用の徹底 ・葦簀による日除け ・打ち水等による暑さ対策の実施	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・施設内のバリアフリー化。 <u>7月より土足可能エリア（1階老人センター、2階デイサービス）を設け、施設内の転倒予防対策を講じた。また、土足による衛生面を考慮し、衛生マット等の配置を増やしている。</u> ・障がい者用トイレ、洋式トイレ、手すり、自動ドア、エレベーター、身障者用駐車場の設置、 ・車椅子利用者、視覚障がい者等の通行の支障にならないよう備品等を配置 ・従事者向けの研修を実施	期待以上 3点	土足可能エリアを設け、利用者の利便性及び転倒防止を図る等工夫に努めた	
			④備品管理			毎年、備品台帳を修正し管理 耐用年数超過物品の点検、修繕、買換え、廃棄処分等の対応	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			多治見市社会福祉協議会の「個人情報保護管理規程」により個人情報記載書類は鍵のかかるキャビネットです適正に管理	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする（事故なし及び事故等の対応に不備なし：0点、事故等対応に不備あり：△1点）	事故の発生はなかった。 発生した場合には、事故等対応マニュアルにそって実施予定。	事故なし・対応に不備なし 0点	0点	
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上：5点、105%未満～100%：4点、100%未満：3点	【事業収支】（H28年度収入÷H28年度支出×100） 39,426,571÷36,763,377×100＝107.2% ＜参考＞ 【施設】22,679,118÷18,239,389×100＝124.3% 【老人】7,938,203÷9,433,262×100＝84.2% 【児童】8,809,250÷9,090,726×100＝96.9%	105%以上 5点	【施設管理・事業全体】 光熱水費等の節減に努め前年度比で488,854円減少、指定管理1年目でもあり2,663,194円の黒字へと転換した。 【老人福祉センター】 教室の充実や単発行事、合同行事を増加することで利用料収入の増加を図った。（H27：2,370,066円、H28：2,622,203円 252,137円の収入増）支出は前年同様の金額で抑えることができた。人件費を含み、1,495,059円の赤字となった。 【児童センター】 指定管理委託料が減額となり、281,476円の赤字となった。	5点	

4	より良い施設運営のための取組（30点）	(1)市民・利用者の声の反映（15点）	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正（普通）:7～5点、不備あり:4～1点	【施設管理】 ・アンケートボックスを常設し、随時意見を受け付け、意見があれば回答も公表している。 【老人福祉センター】 ・1月に民生委員や各区長・区民会館に協力を仰ぎ、地域の方と、来館者、受講生等337人を対象にアンケート調査を実施。ニーズ把握に努め、次年度の計画に反映していく。 ・講座・行事等終了時にアンケート実施。来館者へ口頭でのニーズ把握も行っている。 【児童センター】 ・4つの乳幼児クラブ（前期・後期）、出張児童センター、デイキャンプ、春まつり、年末コンサートの際にアンケートを実施。クラブ内容のほか、職員の対応等についても把握し、更なる充実となるよう反映。	期待以上8点	アンケートによるニーズ等の把握を積極的に行い、次年度への事業に繋げる検討も行っている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正（普通）:4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。 苦情申出窓口が設置してある事を施設内に掲示している。 苦情申出窓口を設置し、苦情対応責任者・苦情受付担当・第三者委員会を設けている。	苦情なし・適正（普通）4点	苦情に常時対応可能な体制がとられ、適正に実施されている。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント（15点）		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント（アピール）が期待以上:15～12点、適正（普通）:11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	【施設管理】 ・地域に開かれた施設を目指して、秋まつり春まつり等の行事を開催し、地域役員、民生児童委員、福祉委員、保育園、小中学校関係者の協力を得ながら連携を強化している。地域行事に積極的に参加するとともに、また福祉の拠点として相談ごと等に応じ適切なアドバイスを心がけている。 ・地域福祉委員会の施設見学を受け入れ、施設の概要等をPRしてた。（年3回） ・地域の住民が身近な存在である施設と認識していただけるよう、イベント開催時に、地元区長の協力を得て参加を促していただいた。 ・駐車場が少なく、イベント、教室等の参加者が多い際には、周辺が混雑するため、職員が外に出て誘導を行うなど安全面の配慮をしている。 【老人センター】 ・人気の高い教室については、分化してさらに充実させ好評。男性利用者も増加している。移動老人センターを増加し、来所できない地域の方のフォローも行う半面、PRも強化し利用者拡大につなげている。地域の福祉委員の見学会を開催するなど、より気軽に利用できる施設づくりに努めている。 【児童センター】 ・保育園・幼稚園・小学校等に児童センター便りを配布し、児童センターのPRをしたことから幼稚園帰りの親子が集団で遊びに来る機会が若干増えている。気軽に来館でき、楽しめる施設づくりに努めている。	期待以上13点	複合施設の特徴を活かし、季節に応じて定期的に、児童と高齢者の共催事業を多数企画実施している。	13点
	5	その他（減点方式）	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする（遅れ・不備内容の程度により△1～△3点） 一部遅れ・不備あり（軽微）:△1、一部遅れ・不備あり（中程度）:△2、一部遅れ・不備あり（それ以下）:△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
(2)市からの指示等への対応（報告書類の提出以外）等			0	指示への対応等に応じて減点対象とする（対応等の内容により△1～△3点） 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下（軽微）:△1、対応等が期待以下（中程度）:△2、対応等が期待以下（それ以下）:△3	対応に問題なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下					合計86点
								全体的な評価 ・適切な管理がされている。 ・施設管理における工夫やニーズの把握を積極的に行い、より良い事業実施にむけた姿勢が極めて良好である。	極めて良好